

# 令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

( 令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	242000-01-04
事務事業名	資源再利用奨励補助事業			担当部課	環境経済部 総合クリーンセンター
				電話番号	04-2934-5546 内線
総合計画 基本計画	施策の大綱	04	住みやすく緑豊かなまちづくり	実施期間	昭和58年 ~ 年
	政策(節)	04	生活環境の整備・保全	その他の計画	
	施策(項)	03	廃棄物対策、循環型社会の推進		
予算事業名	資源再利用奨励事業			予算事業番号	1220
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業開始の背景・経緯	子供会や自治会などが家庭から出る新聞、雑誌などの資源物を集めて資源回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対して奨励補助金を交付することにより団体を支援し、ごみの減量化・資源化を推進する。				

2 事務事業の目的・内容			
対象	市内に住所を有するもので組織し、かつ、営利を目的としない団体	実施の根拠 (法令・条例等)	入間市資源再利用奨励補助金交付要綱
目的 (もたらそうとする成果)	家庭から排出される廃棄物の中で再利用できる資源物を回収する団体に奨励補助金を交付することにより、資源を大切に作る意識づけを進め資源再利用の促進、ごみの減量及び生活環境の保全を図る。		
全体の事業内容	登録団体の奨励補助金交付申請により、毎月回収量に応じて奨励補助金を交付する。		

3 事務事業の実施状況と成果			
令和 1年度の実施内容	登録団体 196 団体・申請件数 1138 件 毎月各団体より受け付けた申請書・計量票・仕切り書等確認し、翌月末各団体へ振り込む。		

区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
実施状況	① 実施団体数	目標値又は前年度値	団体	198	201	198	196	前年度実績	
		実績値	団体	201	198	196			
		達成率又は前年度比	%	101.52	98.51	98.99			
	②	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
	③	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
	④	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
成果	① 資源回収量	目標値又は前年度値	t	2,634	2,485	2,235	2,047	前年度実績	
		実績値	t	2,485	2,235	2,047			
		達成率又は前年度比	%	94.34	89.94	91.59			
	②	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの  
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	11,508 千円	11,008 千円	9,980 千円	9,480 千円	
		決算(見込)額 ①	9,948 千円	8,945 千円	8,193 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.1 人	0.1 人	0.1 人	
			嘱託・再任用	0.2 人	0.2 人	0.2 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人件費 ②	1,341 千円	1,658 千円	1,543 千円		
	総事業費 ③=①+②		11,289 千円	10,603 千円	9,736 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		8,000 千円	8,000 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		8,000 千円	8,000 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		3,289 千円	2,603 千円	9,736 千円			
効率性 指 標	指標名	資源回収量 ⑦	2,485 t	2,235 t	2,047 t		
	コスト	1tあたり ③÷⑦	4,542 円	4,744 円	4,756 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個 別 評 価	必 要 性	有 効 性	効 率 性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総 合 的 評 価	評 価		今 後 の 方 向 性
	資源再利用奨励補助金は、ごみの減量・資源化を始めとする生活環境の保全を住民自らが自主的に行うことで地域の活性化に繋がる大変有意義な事業である。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改 善 課 題	令和 1年度の取り組み課題		
	近年は登録団体数が横ばい傾向にあるため、より多くの団体に活用していただくよう、市報など広報媒体を通じて積極的に啓発活動を行い、更なる登録団体を確保する。		改 善 の 評 価 <input type="checkbox"/> 改善できた <input type="checkbox"/> やや改善できた <input checked="" type="checkbox"/> 改善できなかった
	令和 2年度の取り組み課題		
	登録団体数が横ばい傾向にあるため、より多くの団体に活用していただくよう、市報など広報媒体を通じて積極的に啓発活動を行い、更なる登録団体を確保する。また、家庭から出る資源ごみについても、なるべく地域で行っている集団資源回収へ出していただくようあわせて啓発活動を行う。		
令和 3年度の取り組み課題			
引き続き、登録団体の増加及び集団資源回収の活用が図られるようPRに努める。			

◆ 2次評価

総 合 的 評 価	今 後 の 方 向 性	具 体 的 内 容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	資源物の再利用や市民のごみ削減への意識向上に一定の効果が期待されるほか、地域活動団体や地域活性化の支援という側面もある事業である。しかしながら、登録団体数や資源回収量は年々減少している状況である。相応の財政支出を伴う事業であるため、補助金制度の目的、効果や効率性等を総合的に検証し、多角的な視点から事業の廃止・縮小・統合を含めた取組内容や方法の見直しを図る必要がある。